

NEWS LETTER



NO.36

2010.7.15

発行：にほんごひろば岡本

〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

にほんごひろば岡本

新しい風とともに

1999年11月に「にほんごひろば岡本」が産声をあげて、満10年半が過ぎました。

ここ東灘の地で、地域の日本語学習支援団体として、微力ながらもそれなりの成果をあげてこれたのは、皆様のご支援、ご協力のおかげと感謝し御礼を申し上げます。

先日の総会とそのあとの支援者交流会に、多くの方が出席してくださいました。久しぶりに充実した交流の時間がもてたことを素直に喜ぶ気持ちと同時に、今後の活動について再考しなければならない時期にきていることを感じさせられました。

一昨年来、支援者の構成が、大きく2つのグループに分かれてきています。創立から数年のうちに活動開始されたベテラン支援者と、ここ1～2年のあいだに参加された新人支援者のグループです。新旧の支援者が協力し、お互いの持ち味を生かして、ひろばの活動が活性化できたらと強く思います。



その試みのひとつとして、今年からは新しい支援者にも運営委員をひきうけていただきました。ややマンネリ気味のひろばの活動に新風を吹き込んでくださるものと期待しています。折りしも7月3日(土)に行われた七夕まつりでは、習字や笹かざりの指導、浴衣の着付けやお茶のお手前などに、新旧の運営委員がそれぞれの個性を存分に発揮し、おいに盛り上げてくださいました。

学習者と支援者のマッチングがより上手くいくようにと、長年の課題であったコーディネーターを新設し、昨年は井畑さんが初代コーディネーターとして奮闘してくださいました。今年は市川さん、小澤さんの二人体制でより強力、かつ細やかな心配りのマッチングをしていただけるものと思っています。

また、昨年度は初めて、内部講師によるステップアップ講座を開催しました。この講座は、最低限おさえておいた方がいい文法事項などを確認し、初心者にも不安なく学習支援をしていただくこ

とをめざしています。講師も同じ支援者としての視点から、支援者が元気になるような助言をしていただき、「ひろば」でしかできない講座になればと願っています。

私たちは、日本語学習支援を共通の目的として、ここ「にほんごひろば岡本」に集っています。お互いのバックグラウンドが異なっているのですから、それぞれが持っている財産は、それぞれ多種多様です。職業経験であったり、豊富な学識であったり、生活者の知恵であったり、きらきらと輝く若さであったり・・・今まで生きてきた軌跡そのものが、学習支援の場で大きな力となることに自信をもっていたきたいのです。ひとりひとりの支援者が、日常の学習支援や季節ごとのイベントなどに、その財産を思う存分生かしてください。

「みんなでつくる—にほんごひろば岡本」の実現をめざし、気持ちをひきしめて、さらなる歩みを続けましょう！（西村佳子）

支援者自己紹介

★佐柳有理さん

はじめまして。

神戸松蔭女子学院大学で日本語教育を副専攻し、下田先生にご指導いただきました。現在は一般企業で秘書として働いていますが、「日本語教育に関わり続けたい！」と思い、にほんごひろば岡本を紹介していただきました。

学生時代に教壇実習をした経験があることから、1対1で教えるのは簡単？と思っていたら、大間違い。学習者のペースやニーズに合わせて学習を進められる反面、理解してもらえらるまで進め



られないという難しさを痛感しています。

2009年10月から担当しているタイ出身のサーさんは英語を母国語同様に話されるほど言語に

長けた方です。教科書の説明を一読しただけで、どんどん理解していく姿にいつも驚かされています。言語が得意な方らしい細かな文法の質問を受けるたび、自分の知識不足を思い知らされますが、私が答えを見つけられるまで待ってくださるサーさんとこれからも一緒に学んでいきたいと思っています。

まだまだ支援者としては未熟ですが、学習者のみなさんと共に成長していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

★湯地みどりさん

今年の3月からにほんごひろば岡本にお世話になっている、湯地みどりと申します。

友人がシアトルで日本語教師をしており、その教室や授業風景を図々しくも2週間お邪魔している時にじっくり観察させてもらったことがきっかけで日本語教師という仕事を知りました。

そして、先生である友人と生徒さんとの暖かみのある会話に、いい仕事だと思い、学生時代に勉強してきたことや今までの仕事とは分野が違いますが、日本語支援のボランティアに参加したいと思いました。

少し堅苦しい文章になってしまったので、ここからは、かわいい学習者さんについて書きたいと思います。

私が初めて担当させてもらっている学習者さんはタイから来た小学生のナイちゃんです。

ナイちゃんは、とてもかわいくて、賢い女の子です。ナイちゃんにとっては初の専属支援者が新人の私ということで、申し訳なくも思いますが、お互い楽しみながら色々なことを覚えていきたいと思います。ナイちゃんの夢は、私が誤訳していなければ研究者です。ナイちゃんはキラキラした眼で嬉しそうに将来の夢について話してくれて、それを聞くことは私にとっても楽しい時間です。



私が学生時代に勉強してきたことは偶然にも動物関係のことなので、ナイちゃんの大好きな動物や科学の不思議についても今後は日本語で伝えられたらと思います。

現在はナイちゃんのお母さん、サーさんの支援者さんである佐柳さんを始め、様々な方にアドバイスを頂きながら授業を進めています。今後ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、宜しくお願いいたします。（写真は前・右がナイちゃんです）

★中安元博さん

今年の3月ごろから、参加させてもらっています。アットホームな雰囲気だし、みなさん気さくで親切なので、毎回参加させてもらうのを楽しみにしています。

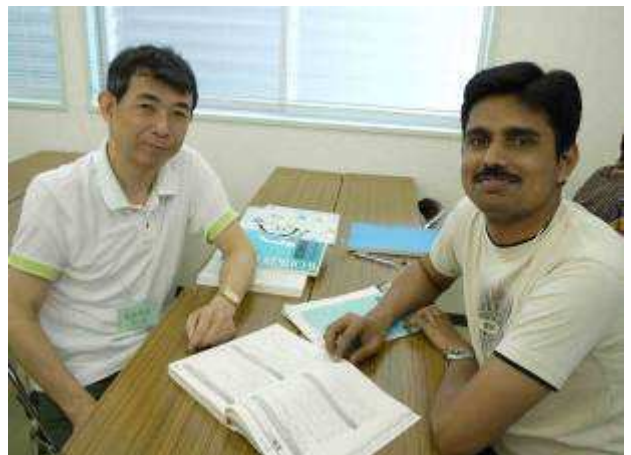
私の学習者はインドのラグさんで、日本語はかなり上手です。しかし、日本語能力試験のさらには上のクラスを目指し、仕事でも、もっとスムーズ

に日本語を使えるように、日本語を学習されています。

私は電気工学が専門で、長くマイクロコンピュータの設計の仕事をして来ましたが、定年後の今も電気の仕事が続けていますが、昨年日本語を教えることに興味を持ち、日本語教師の資格を取りました。今、こちらで支援しているほか、技術研修生教育や専門学校などでも、日本語を教えています。

高校生の頃から言語学に興味があり、大学では専門分野とはまったく違うのですが、面白半分ながら、比較言語学のような言語学関係の本や、いろいろな外国語の本を読んだりしていました。時間に少し余裕が出来たこともあり、また言語の勉強をやってみたいと思う中で、少しは関連のある日本語教師に興味をもったわけです。

最近、日本語教育の勉強の一環として、言語学の中で文の作り方を研究する生成文法や認知言語学の本を読んできましたが、人が言葉をどのように使っているかということについて、学問的な



究明は案外進んでいないのに驚きました。誰もが普通に使っている言葉ですが、なぜ人は言葉をうまく使えるのかを学問として理論だてて考えると、完全に説明するのはまだ結構難しいようですね。

トカナントカ、ちょっとカッコつけて、小難しそうなことを書いてみましたが、ワタクシメはいたって単純で、生物学的分類でみれば『霊長目オジン科ワカブリ属オッチョコチョイ種』、主義主

張で言えば『飲み会外さず主義』、好みで言えば『面白いこと何でも大好き』ですので、これからいろいろとご指導ご鞭撻、そしてイロイロとお誘い頂きますよう、よろしくお願いします。

★山本まみこさん

初めまして。

現在、神戸松蔭女子学院大学2年生です。1年生のときに下田先生の日本語教育入門を受講して日本語教育、また、留学生の方たちとの交流に感銘を受けました。

それまでの私は、外国人の方を見るとなんとなく「別世界の人だ」「私、英語話せないし」など少し距離を置いてしまっていました。しかし、授業を重ねていくうちに、今まであった不安や距離も無くなり、「別世界だ」という変な隔たりも無くなりました。そして「もっと関わりたい！日本語教育のことを知りたい！」と思うようになりました。そんなときに会ったのがこの「にほんごひろば岡本」です。

レッスンをする度に学習者の方から学ぶことも多く、毎回勉強になり、また、自分の日本語の未熟さを痛感します。

まだまだ知らないことも分からないことも多くありますが、学習者の皆さんと一緒に私も成長していきたいと思います。

これからどうぞよろしくお願いします。

★志賀円香さん

はじめまして。

現在、神戸松蔭女子学院大学2年生です。もともと日本語教育に興味があったのですが、1年生の時は部活やサークルにも所属せず何をしたいのかもわからず、アルバイトに励んでいました。そんな時、下田先生の日本語教育入門を受講し、にほんごひろば岡本を知りました。

数回の見学と年忘れお楽しみ会にも参加させ

ていただき、今年の1月からこちらでお世話になっています。今は小学5年生の女の子を山本さんと二人で教えています。毎回説明しにくい単語や言い回しが出てきて、家に帰って調べ直すことがあります。そんな時、自分の日本語の能力や日本語の難しさについて考えさせられます。また、私の説明で本当に理解できているのか不安に思うこともあります。

私は、にほんごひろばで教えることを通して自



分自身の問題や課題に取り組みながら進んでいけたらと思います。(写真左から山本さん・テヂョンちゃん・志賀さん)

★才木綾子さん

はじめまして。今年1月より「にほんごひろば岡本」でお世話になっています才木 綾子（さいき あやこ）と申します。

日本語教師養成講座で知り合った友人の紹介



でこちらに来させていただくことになって約半年になります。

私が現在担当させていただいている学習者の方は、フィリピン出身のメンドーサさんです。彼女は日本人のご主人との結婚を機に約2年半前に日本に来られました。

ご主人は日本人なのですが、ご主人とは普段英語で会話されていて、お仕事（依頼があればハウスキーパーやベビーシッターをされています）の上でも日本語は必要なく日常生活では日本語を使う機会がほとんどないそうです。

メンドーサさんはほぼゼロ初級からのスタートということで不安もありましたが、まずは英語訳の教科書を併用し、そして私の片言の英語も交えながら学習をすすめているところです。彼女はとても真面目な性格でコツコツと勉強してくれるタイプなのでこれからの上達が楽しみです。今はまだ日本語だけでは十分なコミュニケーションはとれませんが、彼女がもっと日本語を話せるようになって色々なことをお話しできるようになる日を楽しみに頑張っています。

本当は彼女のことをもっと詳しく紹介したかったのですが、まだ彼女と色々な話ができていない状況なのでそれができず申し訳ないかぎりです。

私自身、学習者の方と一緒に学ばせていただいている状態ですが、少しでもお役にたてるよう頑張りたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

学習者紹介

☆李相眞（イ・サンジン）さん 韓国出身

最高の話し相手です

韓国の政府機関（日本のJETRO 日本貿易振興機構のような機関）に勤める 36 歳のバリバリのビジネスマンです。政府機関なので世界各地に派遣される可能性があります。サンジンさんは大学院がアメリカだったこともあり英語圏の要員でした。しかし、突然日本への派遣が決まり日本

へ来る前の5か月間、韓国の大学の日本語学科に通い勉強したそうです。

日本語の基礎、基本は習得されており、文法等基本的なことは私から教えることはほとんどありません。

しかし、サンジンさんは日本語を使う、日本語を話すという機会が非常に少ないので日本語に慣れるためにこのひろばに来られているといえます。だから毎回「雑談」をしています。

韓国と日本の技術レベルについてとか、京都、



奈良の観光についてとか、最近ではサッカーのWカップのこと、韓国の哨戒艇が爆破された事等の話をしました。

私自身、若いビジネスマンといろんな話が出来て大変よろこんでいます。日本に滞在し日本語を勉強している外国人と、定年退職した日本の男性とは、話し相手が少ない、話す機会が少ないという点で似ています。

同じ欲求を持つ二人が今後ともいい話し相手であれば願っています。

サンジンさんの家族は奥さんと6歳と1歳の娘さんです。1歳の下の子が今“顔見知り”がひどく、奥さんはたいへんだということです。

3～4年任期があるそうですが、ぜひ日本での生活を楽しんでいただき近い将来、御家族でにほんごひろばの催しに参加されることを期待しています。

（佐々木五十四）

☆韓永旭（ハン・ヤンウク）くん 韓国出身

もう友達がたくさんできました

韓 永旭くんは、昨年のスピーチ大会で韓国の食事マナーの話で皆さんを楽しませてくれた韓永植くんの弟です。

群山大学へ戻ったお兄さん同様、群山大学から神戸大学の海事科学部に今年の3月、留学生としてやって来ました（ひろばで勉強している朴ミリさんとは同級生です）。

韓国にいるときに日本語を約1年半勉強したので会話にも多少は自信があったようです。

ところが、関西空港に着いてバスに乗ろうとしたのですが係りの人が早口で（おまけに関西



弁？）言葉も習った日本語と違う！さっぱり分からず、いきなりの自信喪失。かなりのショックだったそうです。

しかし、1か月半もたつとずいぶん慣れて今では日常会話には殆ど困らないようです。

寮生活ですが、食事は出ないので自炊です。朝は、ごはんに納豆の日本流です。キムチや漬物はお母さんが国から送ってくれます。スーパーで冷凍食品を買って、チャーハン、焼そば、野菜炒めなどは自分で作ります。

彼の明るい性格からか日本に来てまだ僅か3か月ほどですが、もう多くの友達が出来ました。大学祭の時には日本人の学生から韓国名物の「ちぢみ」の屋台を出すので手伝ってほしいと頼まれ参加しました。ところが当日は雨でみんな客の入り心配したそうですが韓くんは「韓国では雨の日はちぢみが食べたくなる」と言ってみんなを安心させたら、偶然かどうかお客さんがたくさん入

って彼は大いに腕を振るったそうです。

また、彼は将来、船員になるのが希望ですが、お兄さん同様、水泳はビールビン（かなづち）。現在、スポーツジムのスイミングスクールに通っていますが、そこでも日本のおじいさん（おじさん？）、おばあさん（おばさん？）と仲良くなりクロールのフォームについて色々アドバイスしてもらい、そのお陰でなんと50メートルも泳げるようになりました。

さて、日本語レッスンのほうは日本語能力試験1級を目指して勉強しています。

神戸大学やひろば以外のところでも勉強しているので、彼の希望でひろばでは「聴解」に絞って勉強しています。「聴解」はうっかりしていると聞き逃して私自身おもわず「もう一回聞いてみよう！」となることがあるのですが、彼はなかなか勘が良く少々分からない言葉が出てきても、キーワードを上手く聞き取って正解にたどり着くのが上手です。

日本の印象を聞いてみると、日本人はやさしくて親切（研究室の先輩や友達もいい人が多いらしい・・・よかったですね）。また道路がきれい（韓国ではタバコの吸殻が結構多いらしい）。

しかし、いわゆる「本音と建前」で、たとえば日本人の「Yes」は本当にそう思っているのか、断ると相手に悪いと思ってしかたなく「Yes」なのか未だ良く分からないそうです。

確かに外国人から見ると日本人ははっきりしないところがある？（反省です）。（宮武寿美雄）

☆朴ミリ（パク・ミリ）さん 韓国出身

日韓文化交流しています

朴ミリさんは今年の3月からにほんごひろば岡本で日本語を学ぶ韓国出身の留学生です。

現在、神戸大学の海事科学部で船について勉強中だそうです。

にほんごひろば岡本では、毎週土曜日の午前、

『みんなの日本語Ⅱ』で日本語を勉強中の朴さん。本人は「日本語は難しい！」と言いますが、日本に留学するにあたって、韓国で少し日本語を勉強していたせいか、彼女はたいへん日本語の呑み込みが速く、スラスラと日本語のニュアンス等を理解していきます。なので、支援する私としては毎回とても助かっています！！また、彼女は自分か



ら日本語で話をしようとする気持ちも強く、日本語でいろいろな話をしてくれるので、毎回私は朴さんとの会話をとても楽しんでいきます。

その中で特に驚いたのは、彼女の心霊体験の話でした！なんと朴さん、金縛りにあったことがあるそうです！！しかも日本に来た後で！！なんでも寝ているときに急に動けなくなり、耳元で知らない男の人の叫び声が聞こえたとか！この話にはとても驚かされました！！と同時にゾッとしてしまいました！そして朴さんには真剣にお祓いを勧めておきました(笑)

また、韓国の文化についても話をしてくれます。日本と同様に韓国にもナンパがあるとか、散髪代が日本より安いとか、韓国も日本と同じで夏には怪談話が盛んになるとか、韓国流七夕伝説とか、いろいろ韓国について教えてくれます。

ほかにも朴さんは日本のマンガやドラマをたくさん見たそうで、日本の女優や俳優をたくさん知っています。これは私としては日本の文化を知ってくれているという点でたいへん嬉しい思いでした。しかし、日本のあるマンガの話をしたときに、私も知らないそのマンガの結末を韓国人の彼女に教えられてしまい、これにはたいへんまい

りました！(笑)

そんな朴さんは今年の夏の日本語能力試験 2 級の合格を目指して目下勉強中です。これからまだまだ日本での生活が続くので、日本語の勉強も、大学の勉強も、また思い出作りも、いろんなことをたくさん、一生懸命頑張ってもらいたいです！！頑張れ朴さん！！

(村岡 聖)

☆谷口ヴィーナスさん タイ出身

いつも笑顔がすてきな人です

レッスンの時間にいつも数分遅れてしまう私を待ってくれるのが、ヴィーナスさんの明るい笑顔です。

日本人のご主人、三人の娘さんの五大家族です。娘さんがアメリカンスクールに通っていることもあって、家族の会話は英語かタイ語だそうで、「にほんごひろば岡本」だけが日本語を話す場所のようです。

レッスンのテキストは、『みんなの日本語』を使



っているのですが、なかなか進みません。いつの間にか主婦の会話が始まり、「ええ～、それでどうしたのー」「そうなの～」(アッハッハ)という調子で、雑談で時間が過ぎてしまうこともよくあります。「今日もちゃんと勉強ができなかった」と反省すると、ヴィーナスさんは「おしゃべりも日本語の練習よ」となぐさめてくれます。

家族の話、タイの話、ショッピングの話、食べ物のお話を日本語と英語をまぜておしゃべりして、

毎回「あぁー楽しかった」（私です）と終わります。ありがとうございます。

ご主人は仕事場がタイなので、2 か月に一度ぐらいしか帰って来られません。帰って来られると、

レッスンを休む程大事にしています。娘さんやご主人だけでなく、周りのお友達や私まで暖かく包んでくれる、ヴィーナスさんはそんな人です。

（小澤恭子）

「にほんごひろば岡本」第11回総会・支援者交流会

第11回総会が5月15日（土）に開催されましたので簡単に報告いたします。

（議事内容）

第1号議案・・・2009年度活動報告

第2号議案・・・2009年度収支報告

第3号議案・・・2010年度活動方針

第4号議案・・・2010年度予算

第5号議案・・・2010年度役員改選

第6号議案　　その他



（総会設立要件）：登録者総数 43 名、出席者 31 名、委任状 5 名で規約により過半数以上を満たしているため本総会は成立しました。また、上記の議案について議事が行われ全て承認されました。

審議された内容の中について少しご説明させていただきます（なお、各議案の詳細については皆様に配布済の「第11回総会議案書」を参照ください）。

第1号議案 2009年度活動報告のまとめ（今後の課題）

2010年度の課題として次のことが挙げられました。

ここ1年半ほどで新しい方がひろばにたくさん来られて学習者数も支援者数も増加し、どの時間帯も教室では元気な声があふれ非常に活気に満ちています。しかし半面、支援者間のコミュニケーションが必ずしも充分とはいえなくなっています。今後は「運営委員会の活性化」「支援者交流会の開催」「コーディネータの活用」「広報・記録部門の充実」などをテーマに支援者間のより一層のコミュニケーションを図りたいと思います。

そのために、ひろばの運営や各種イベント運営などには新しい支援者の方々に積極的にご参加いただけるようお願いいたします。

また出来るだけお互いの名前を知っていただくため学習者、支援者の名札の着用も実施します。ご協力宜しくお願いします。

第5号議案 2010年度役員が次のように決定しました。

代表兼会計	1名	西村佳子	
顧問	1名	下田美津子	
副代表	2名	宮武寿美雄	坂本喬子
会計監査	2名	田渕純子	松見和代

コーディネーター 2名 小澤恭子 市川邦子
 運営委員 若干名 ※大西勇 ※古瀬尚子 佐々木五十四 橋本桂子 三木知津子
 安楽美希 泉尚子 倉本好恵 佐柳有里 中山美幸 (※リーダー)
 ニュースレター&記録担当 1名 井畑真理子
 ホームページ担当 1名 三木知津子

2010年度は運営委員に新しく5名の方(運営委員欄の下線)に入ってくださいました。

《総会・支援者交流会を終えて》

総会に引き続き行われた支援者交流会では非常に多くの方々にご参加いただきました。みなさんには意義あるお話をたくさんしていただきました。大西さんからは「日本語ボランティアの社会的意義」と題して、日本語習得を必要とするニューカマーの増加に対する行政の不備を補完する日本語ボランティアの活動意義についてお話がありました。「会話ができた外国人の方は、日本語教室の外で日本語を話すために教室へ来るのではなくて、教室の中で話すために来るのです」という締め言葉は、今後のひろばでの支援にとっても心強いものになりました。ほんとうに有難うございました。(宮武寿美雄)

支援者交流会に参加して

村岡 聖

こんにちは。関西学院大文学部所属の村岡聖です。少し自己紹介をさせていただきます。

私はインターネットで「にほんごひろば岡本」の活動を知り、今年の3月から支援者として毎週土曜日に活動している者です。日本語支援は初めての経験で、まだまだわからないことがたくさんありますが、毎週とても自分自身が楽しみながら、時に学習者さんからの難しい質問にあくせくしながら活動しています。

生まれは神戸で、現在大学3回生です。文学が好きで、特に純文学では夏目漱石が大好きです。夏目漱石の『三四郎』、『野分』、『彼岸過迄』、『行人』、『こころ』、『明暗』がとても好きです。また大衆文学では、江戸川乱歩がお気に入り、二十面相シリーズはもちろん、『人間椅子』、『蟲』、『二魔人』、『白昼夢』、『百面相役者』、『屋根裏の散歩者』などが好きです。

そんな私がにほんごひろば岡本の活動に参加しようと思ったのは、大学の授業で日本語の将来を考えるとという講義を聞いたからです。その講義では、日本語母語話者も知らないような日本語の不思議さ、おもしろさ、深さを学び、そしてそんな日本語が将来どう変化していくかということをとっても考えさせられました。そこでその講義の教授が「ここまでグローバルな世界になった現代を考えると、日本語は将来消滅しているかもしれないね」と仰り、それを聞いた私は、日本語を話す一日本人として、何か日本語についての活動がしたい！！と思いました。そのことが私のにほんごひろば岡本の活動に参加させて頂いた理由です。真剣に私が生きている間に日本語が消滅する！！と悲観しているわけではないのですが、そのような考えや可能性も含め、日本語というもの全体に強く興味を持ったのです。



さて、そんな私がにほんごひろば岡本での活動を始めて3か月経った2010年5月15日、初めての支援者交流会に参加しました。

そこでまず驚いたのは支援者さんの人数。毎週土曜日の午前だけ、にほんごひろば岡本に来ている私には出会ったことのない方がたくさんいらっしゃって、これにはとても驚きました。私は生まれも育ちも神戸の本山中町で、ずっと岡本の近くで暮らしてきました。しかし今回の支援者交流会に参加するまでこんなにもたくさんの方がこの地で活躍なさっていることは全く知らなかったもので、この事実を知れたということだけととっても、私にはたいへん有意義なものでした。

そしてこの日、支援者の皆さんとお話する中で得られたことがたくさんありました。男言葉や女言葉についての話や、ある単語についてのニュアンスの話、支援方法についての話、各国々の文化についての話等、たくさんのお話を伺うことができました。また、上記のような知識的・技術的なお話ばかりでなく、精神的なお話もして頂きました。その中で特に印象に残っているのは、たくさん先輩支援者の方々に「長く続けて下さいね」と仰って頂いたことでした。

私は日本語の母語話者です。しかし日本語の母語話者でありながら、日本語についてわからないことばかりです。まして誰かに日本語を上手に教えるなどとても簡単にできることはありません。しかしそんな素人の私でも、とにかく続けることはできます。初めのうちは自分もわからないことばかりですが、投げ出さずに1日1日、にほんごひろば岡本での活動をわからないなりに続けていくことはできます。私はそのことを「長く続けて下さい」というお言葉を頂くことによって感じられ、これから一生懸命、自分自身も成長しながら、また楽しみながら長く活動を続けていこうと思いました。

そして長く続けようと思うと同時に、わからないことはとにかく自分から積極的に調べ、同じ支援者の方に質問していこうと思いました。それは「長く続けて下さい」というお言葉を頂くと同時に、「わからないことは何でも聞いて下さい」というお言葉も頂いたからでした。私は日本語支援の活動というものは、支援者が学習者を支援するものだばかり思っていました。しかし、「わからないことは何でも聞いて下さい」というお言葉を頂くことによって、支援者同士の支えあいとそのネットワークもまた、日本語支援活動には欠かすことのできないたいへん重要なものであるということを知りました。

私はまだまだ素人です。駆けだしたばかりです。まだまだわからないことがたくさんあります。しかし、私はこの日の支援者交流会を通して、日本語支援とは、決して一人で黙々とやることではないということを学びました。そしてまた、日本語支援とは、長くやっている人も、始めたばかりの人も一緒になって、支援者同士が一丸となって支えあい、学習者と共に日本語を学んでいくことだということを学びました。

私はこの支援者交流会で3か月前より確実に、他の支援者の皆さん、学習者の皆さんと一緒に楽しみながら、にほんごひろば岡本でも活動を続けていきたいと強く願うようになったのでした。

みんなのひろば

【モニカさんのバルセロナ便り】

吉岡モニカさんから便りと素敵な写真が届きました。彼女たちご一家（ご主人の大輔さん・お子さんのモナミちゃん・ジョウセイくん）は今、スペインのバルセロナで暮らしています。

以下は皆さんへのメッセージです。(原文のまま)

私の大好きな先生たちの皆さんへ

お久しぶりです。お元気ですか？

日本からスペインに帰って、私から連絡がなくて、本当にすみませんでした。

私たちは、お蔭様で、とても元気です。モナミは、もう小学校1年生になりました。毎日とても楽しくて、学校に行っているようです。先週の土曜日、7歳になりましたので誕生日会をしてあげました。とても大変でした。お友達は27人も来てくれました。もちろん場所は家ではなくて大きな広場を借りてそこでやりました。お友達のお父さんもお母さんもいらっしやったので、皆で50人ぐらい集まりました。モナミはとても喜んでくれました。

私は、毎週水曜日に日本語を教えています。生徒さんが3人います。主人は笑うけど、私にとっては役に立ちます。日本語は何も分からない生徒さんたちだから、「あいうえお」から教えています。『みんなの日本語』を使って。いろんな思い出が出てきます。私の日本語はなかなか上手になりません。もっともっと勉強をしなければなりませんが、今はカタラン語のクラスに通っています。どうしてかと言うと、子どもたちの学校の勉強はカタラン語ですからです。

子どもたちも、日本語を勉強しています。毎週土曜日に3時間、日本人学校で勉強しています。モナミは日本の学校の1年生の勉強を、ジョウセイは幼稚園の勉強をしています。だけど、来月からジョウセイはサッカーのクラスに行く予定です。行きたくて行きたくてたまりませんので、土曜日の日本人学校に行けなくなります。本当に残念ですね。家で日本語を教えなければなりません。がんばります！！

それでは、みなさん、お元気で。お会いできる日を楽しみにしています。
モニカより。

★楊潤洲くん 高校入学 おめでとう！

2010年4月、兵庫県立御影高等学校に入学。お母さんとのツーショット、少々照れくさそうですね。



★スティーブンさん 女兒と一緒に

2010年5月1日、寧々ちゃんと一緒にひろばを訪ねてくれました。すっかりパパの顔です。

★七夕まつり 今年の七夕まつりは7月3日（土曜日）と7月7日

（水曜日）

に行いました。特に3日の土曜日は大雨にもかかわらず、多くの人が参加してくれました。

みなさんの

浴衣姿の写真はひろばでご覧ください。



■お知らせ■【BBQ】今年のBBQは2010年10月30日（土曜日）の予定です。お楽しみに。

CONTENTS

★巻頭言 新しい風とともに（西村代表）……………1

★支援者自己紹介

佐柳有理さん 湯地みどりさん……………2

中安元博さん……………3

山本まみこさん 志賀円香さん 才木綾子さん……………4

★学習者紹介

李相眞さん 韓永旭くん……………5

朴ミリさん……………6

谷口ヴィーナスさん……………7

★総会報告 （宮武副代表）……………8

★支援者交流会に参加して 村岡聖さん……………9

★みんなのひろば

吉岡モニカさんのバルセロナ便り……………10

楊潤洲君 祝ご入学 ・ スティーブンさん赤ちゃんと来訪……………11

★お知らせ ……………11

〔編集子のつぶやき〕2010年も半分過ぎました。暑い夏がやって来ます。みなさん元気でお過ごし下さい。（I・M）

5月15日にうれしいメールが届きました。

こんにちは。 주성수（朱晟秀、ジュサンス）です。今日（5月15日）は韓国では先生の日です。それで韓国では先生にいろんなことをいただいた感謝の気持ちを話します。「ありがとうございました」私は5月6日から5月12日まで제주도（済州島、ゼズド）に学校の実習ために行って来ました。日本人が旅行で行きたいところが北海道なら、韓国人が行きたいところは제주도（済州島、ゼズド）です。済州島は火山島です。漢拏山（標高1950m、韓国最高峰）と呼ばれる山があります。あの山はきれいだし、観光のところもたくさんあります。代表するものはみかんとドルハルバン（石じいさん）です。ドルハルバンは玄武岩の作ったものです。かわいいし、おもしろいです。

